



主な内容

- | | |
|--|----|
| ■小池市長市政報告 | 26 |
| ・燕市及び田上町の市町村合併に
関する住民意向調査の結果につ
いての談話 | 26 |
| ■ホームヘルパー募集 | 2 |
| ■加茂市教養講座受講生募集 | 7 |
| ■加茂の風土記 | 8 |

市民レクリエーション大会
(2月9日 冬鳥越スキーガーデン)

市政報告

加茂市長 小池清彦

お気軽にいでください
市民と市長の「よもやま話」の日

四月三日(木)午後一時三十分から
(時間等についてはお問い合わせください)

【受付・問い合わせ】 市役所3階総務課広報広聴係
(☎52-10080 内線323)

までお願いします

ホームヘルパー募集

五月採用予定のホームヘルパー採用試験を行います。

勤務先 加茂市ホームヘルパーステーション(第二平成園内)
待遇等 所定の給与規則等によります。

第一次試験 4月15日(火)・作文試験

第二次試験 第一次試験合格者に對して、面接試験を行います。

提出書類 市販の履歴書に必要事項を記入し、資格をお持ちの方は、ホームヘルパー養成研修修了証書の写し、免許証の写し等、資格を証明するものを添えて提出してください。
締め切り 3月31日(月)までに市役所総務課組織人事係または加茂市在宅介護・看護支援センター(☎41-4032)へ。

先日、燕市と田上町で、市町村合併について、十八歳以上の全住民を対象とする住民意向調査の結果が発表されました。いずれも、市町村合併には消極的な方が圧倒的多数を占めております。この住民意向調査の結果について、二月十八日に発表いたしました私の談話を次に掲げさせていただきます。

職種	採用人員	受験資格
ホームヘルパー	6名程度	採用月以上(昭和18年4月2日から昭和60年4月1日までに生まれた人。ただし、ホームヘルパー養成研修2級の資格をお持ちでない方は、本年4月1日までに資格を取得された後に年次

平成十五年二月十八日

燕市及び田上町の市町村合併に関する住民意向調査の結果についての談話

加茂市長 小池 清彦

一 燕市と田上町で行われた市町村合併に関する住民意向調査の結果が発表されました。

いすれも十八歳以上の全住民を対象としたもので、燕市の結果（二月八日発表）では、「合併に賛成」が三一・七%、「合併に反対（燕市単独）」が四三・七%となつております。この他に、当面合併に消極的な「協議は進めるべき」が一八・九%、同じく合併に消極的な「無回答」が五・七%となつております。

また、田上町の結果（一月二十七日発表）では、何らかの合併に賛成の人が三二・四%、合併に消極的な人が六七・六%（合併反対二四・八%、分からぬ四二・八%）となつております。

燕市については、さらに調査結果の細部を見ますと、西蒲原地域との諸般にわたる強い結びつきが感じられます。

こうした中につけて、燕市の高橋甚一市長さんが県央東部五市町村による法定合併協議会設置の市議会に対する提案を見送られ、他の四市町村長さんもこれを見送られたことは、妥当な措置であったと考えております。

これによつて、県央東部地域は毎年国から來ている二百億円のお金が半分の百億円に減らされ、衰退し、また、民主主義が消滅する危機から救われ、豊かに繁栄していくものと思います。次に田上町の住民意向調査の結果によりますと、対象者一万千二百八十三人の七四・二%、即ち、四分の三に当たる八千三百六十九人が回収に応じられました。

この回収に応じた全体の四分の三の方々のうち、何らかの合併に賛成の人は、その三二・四%、即ち、三分の一弱で、三分の二強の六七・

六%（合併反対二四・八%、分からぬい四二・八%）が合併に消極的でありました。これは全体の四分の三に当たる回収者の中の割合であり、全体の四分の一の方は、はじめから回収に応じておられず、合併に消極的であられると考えられます。

従つて、何らかの合併に賛成の方は、全体の四分の一弱であり（四分の三×三分の一弱＝四分の一弱）、全体の四分の三強の方が合併に消極的であるという結果となりました。

一方、全体の四分の一弱に当たる何らかの合併に賛成の方の中で、加茂市との合併を望む人は、二〇・二%、即ち、約五分の一に過ぎず、従つて加茂市との合併を望む人は全体の二十分の一しかおりません（四分の一×五分の一＝二十分の一）。

このように、田上町において加茂市との合併を望む人は、全体の二十分の一即ち、約五%しかおられないという結果が出ましたので、これで田上と加茂の合併が実現する可能性はなくなり、ケリがついたといえます。

合併を結婚にたとえますと、相手が結婚はいやだと言つているときに、こちらから一方的に結婚を迫るストーカーのような行為は、全く実を結ぶことがないうえに、田上町民の怒りに火をつけ、取り返しのつかない結果を生むことに

なります。

田上と加茂は、すでに消防と衛生の分野で組合を作つて完全に合併しております、ごみの焼却炉も火葬場も田上町にあります。

昨年十二月一日から、個々の企業の焼却炉の規制が厳しくなり、加茂市の木工業において自前の焼却炉を持つ企業は一つもなくなりました。その結果、田上町に所在する焼却炉の運転時間を今までの十二時間から十六時間へ延長しなければならなくなり、田上町の方々に多大のご迷惑をおかけすることになつてゐるのであります。こうした時に田上町民の皆様に失礼なことをして、その怒りに火をつけてはなりません。

田上・加茂の合併は、田上町の住民意向調査の結果、見込みが完全になくなり、決着がつきましたので、加茂市サイドは、早急に撤収するのが、田上町民の皆様に対する礼儀であり、ジエントルマンシップであると考えます。

もうケリがついたことではありますが、田上と加茂の合併そのものにも、目をつぶつてはならない、冷厳なる現実があります。

かつて、山本五十六連合艦隊司令長官は、近衛文麿首相から日米が開戦した場合の勝算を聞かれ「一年間は暴れて御覧に入れますが、あとは政治が解決するほかはない」という趣旨の答

えをされたといわれております。近衛首相は、劣勢を政治が解決できると思つて、日米開戦を決定し、その後に辞職してしまったのであります。そのあとを継いだ東條首相は開戦し、その結果は、劣勢を政治が解決することなど不可能で、悲惨な敗北で終わつたのであります。

田上と加茂が合併した場合は、大きな合併市ができることによつて、民主主義が後退するうえに、地方交付税交付金の「段階補正分」が毎年五億二千九百万円合併市に来なくなり、これを元手として事業を起こすことができなくなりますので、そのとき来るはずの国のお金を加えると十一億円から十三億円の地方交付税交付金が毎年来なくなります。また、合併特例債は、起債制限比率一五%の制限があつて、田上と加茂の合併には、使うことができません。一方、合併しても職員の数は減りません。職員一人で担当できる住民の数は、ほとんど一定で変わらないからです。

四

その結果、新しい合併市の市政は、次のようにになります。

(1) 田上町は下水道事業をまだ行つておらず、合併した場合は加茂側の大きな負担によつて、田上町の下水道を建設しなければならなくなりますが、実際は、田上の下水道建設には着

手できないばかりか、現在毎年約十億円（うち加茂市の負担約四億円、国の負担約六億円）の事業規模で推進している加茂の下水道事業も中止しなければならなくなるでしょう。その結果、建設業も大打撃を受け、倒産が続出することになるでしょう。

(2) 日本一の福祉の水準は維持することができず、大幅に後退するでしょう。ホームヘルパーの数も大幅に減り、低い保育料も値上げされるでしょう。

(3) 特別養護老人ホーム第三平成園は建設できなくなるでしょう。

(4) 二百万円上限の無担保無保証融資制度は、なくなるでしょう。その他商工業に対する手厚い保護はなくなるでしょう。

(5) 商店街に対する手厚い保護はなくなり、また、大型店の進出を止めることができなくなつて、商店街は、衰退するでしょう。

(6) 農機具購入費補助の制度はなくなるでしょう。その他農業に対する手厚い保護はなくなるでしょう。

(7) 日本一強力な自然環境保全条例はなくなり、自然破壊が進むことになるでしょう。

(8) コミュニティセンターの百円風呂はなくなるでしょう。コミュニティセンターの中には閉鎖されるものが出てくる可能性があります。

五

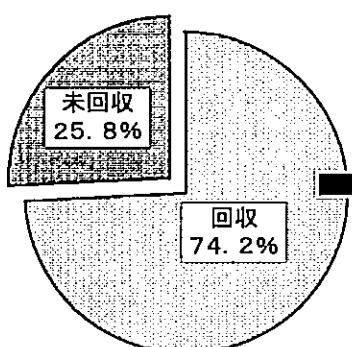
(9) 学校や保育園の中には統合されたり、廃止されたりするものが出でてくるでしょう。

私たちは、田上と加茂の合併を論ずる場合、冷厳なる現実として、上記の犠牲を覚悟の上で、なお、田上・加茂の合併を進めるべきか否かを判断せねばなりません。私は、責任ある立場に立つ人間として現実を申し上げなければならぬのであります。

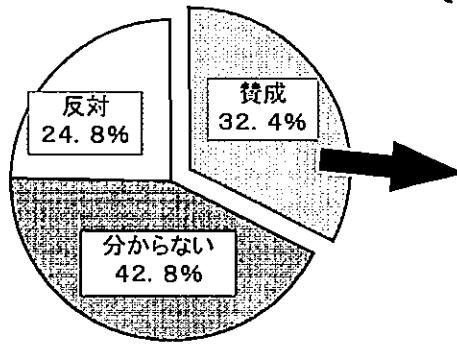
いずれにいたしましても、田上町と加茂市の合併の問題は、このたびの田上町の住民意向調査の結果、実現の可能性はなくなり、決着がついたところであります。

かくして、今後、田上町と加茂市は、消防と衛生の分野においては組合を作つて合併し、それ以外の合併する必要のない分野では合併せず、基本的にそれぞれが独立して、各々国から交付税や補助金等のお金をたくさんもらつて、それぞれ豊かな民主的市政・町政を推進するという、現在の最良の形で共に繁栄していくものと思います。

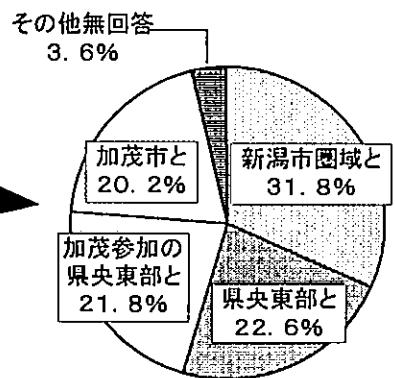
(参考) 田上町の市町村合併に関する住民意向
調査結果の大要



対象者 11, 283



有効回答 7, 974の内訳



合併賛成 2, 584の内訳

平成15年度 教養講座受講生募集のお知らせ

講 座 名	実 施 日	開 催 概 要
茶道（宗徳流）講座 講師 清真庵 宗信	火曜日（25回） 午後7時～9時	会場：勤労青少年ホーム (ゴルフは加茂ゴルフセンター)
生け花（小原流） 講師 丸川 吟良	火曜日（25回） 午後7時～9時	対象：市内在住者または在勤者 (学生は不可) (柳生新陰流剣道講座と太極拳 講座はどなたでも受講できま す)
社交ダンス（初心者）講座 講師 萱森 トシ	火曜日（25回） 午後7時～9時	受付：4月7日から受付開始 (柳生新陰流剣道講座と太極拳 講座は随時受付します)
ゴルフ（初心者）講座 講師 坪谷 清	水曜日（20回） 午後7時30分 ～9時30分	定員になり次第、受け付けを締 め切ります。
料理（初心者）講座 講師 坪谷 節子	水曜日（20回） 午後7時～9時	※エアロビクス講座については 希望者が多い場合は抽選とし ます。
料理（一般）講座 講師 坪谷 節子	水曜日（10回） 午後7時～9時	受講料等：保険料+会費で 年間 1,000円 (教材費は自己負担)
お菓子作り講座 講師 皆川 栄子	水曜日（10回） 午後7時～9時	
フラワーアレンジメント講座 講師 原田 純恵	水曜日（20回） 午後7時～9時	
エアロビクス（初心者）講座 講師 神原 弘美	金曜日（20回） 午後7時30分 ～9時00分	問い合わせ・申し込み先 勤労青少年ホーム（☎ 52-6116） (柳生新陰流剣道講座と太極拳 講座についてのお問い合わせ は総務課秘書係 ☎ 52-0080)
書道（毛筆・硬筆）講座 講師 伊藤 芝園	金曜日（25回） 午後7時～9時	
着物着付け講座 講師 渡辺 和	金曜日（20回） 午後7時～9時	
ゴスペル講座 講師 桑原 純子	金曜日（20回） 午後7時～9時	
民踊講座 講師 長谷川 サヨ	土曜日（10回） 午後7時～9時	
柳生新陰流剣道講座 講師 加茂市長 小池 清彦	第1・3の水曜日 午後7時～9時	
太極拳講座 講師 加茂市長 小池 清彦	第2・4の水曜日 午後7時～9時	

加茂の風土記

國朝有錢鏤金之法，其後鑄錢者多用此法。其錢鏤金，則其錢之形制、文字、數目皆鏤金於錢之正反兩面，其後鑄錢者，每以銅錢鑄成之後，即以鏤金之錢為範，鑄成之後，其錢之形制、文字、數目皆鏤金於錢之正反兩面。其後鑄錢者，每以銅錢鑄成之後，即以鏤金之錢為範，鑄成之後，其錢之形制、文字、數目皆鏤金於錢之正反兩面。

加茂町から下条村へ出された岩井かほ世の引
越証文 年五十四歳、寺 廣圓寺とある。

幕府領加茂町から旗本領下名
村へ。異領への引っ越しといふ
ことで、まだ取り締まりを搔き
潜れる術があつたものであらう
か。かほ世はこの八年後、波乱
の生涯を閉じてしまう。

人口のうごき

2月1日現在

世帯 9,858 (+ 2)
人口 33,274 (- 6)
男 16,109 (± 0)
女 17,165 (- 6)
() 内付前月比

(1月奖励分)

出生 20 (男 8 女12)
死亡 24 (男 8 女16)
転出 37 転入 35

幕末の加茂を代表する歌舞伎役者に岩井かほ世がある。その供養墓は廣則寺にある。二階堂保則著「岩井可保世傳」を要約すると、「本名（田中）倉松、幼時、市川家の丁稚となるが、十九歳で江戸に出て、岩井半四郎について俳優を学ぶ。八百両役者となるが、三十二、三歳（文政七年ころ）で帰国、天王寺屋と号し、安政四年（一八五七）四月二十六日病没、享年六十五」とある。

加茂町に戻つてからのかほ世は、庄屋市川家の援助を得て、旅籠屋を営んでいたことが天保六年の旅籠屋請書に見える。し

かし、旅籠屋稼業をしながらも芝居への執念は絶ち切れたがたからもつたらしく、他所から芝居を頼まれれば興行に出歩いていた。時は天保十二年に始まつた天保改革のころ。庶民の楽しみであつた歌舞伎を始め、華美な文化や風俗が規制され、儉約が強制された。その結果、頼まれれば芝居興行に出歩いていた岩井が世は仲間の糸之助と共に昌吉翁の言ふ如きの如き

に単身で引っ越しをしている。
下条村への引っ越し直後だろう
うか、新保村（三条市）で芝居
興行を行つたことから、出雲崎
代官所から手配され、追われる
身となつた。さらに、加茂町に
残つていたかほ世や糸之助の女
房たちは、手配中に加茂町宅に
戻つたら直ぐに町役場へ通知す
る旨の請書を、同年六月に差し
出している。

榮さんのご遺族 石宮町一 三万円
▼中林貞雄さん（故・中林ハツ
イさんご遺族 旭町）から 三万円
▼三浦二郎さん（故・三浦ヨネ
さんのご遺族 五番町）から 三万円
▼青柳英一さん（故・青柳キタ
きんのご遺族 小橋二）から 七万円
三万円

下条村に引っ越していた

歩きは続いていたらしく、町に居ては危ないと考えたのか、つ

卷之三

▼佐藤栄一さんから（故・佐藤栄さんのご遺族　若宮町二）

▼中林貞雄さん（故・中林ハツイさんのご遺族 旭町）から

▼三浦一郎さん（故・三浦ヨネ
さんの二遺族 五番町）から
三月

▼青柳英一さん（散・青柳キク）

さんのご遺族 小橋一から

▼加茂信用金庫（理事長 梁取耕造さん）から 二万五千円

三

人口のうごき